

私たちには、まだできることがあります！



12月14日、日本政府は、名護市辺野古の新基地建設において土砂を投入し埋め立てを開始しました。全体で約160ヘクタール(東京ディズニーランド3個分超)の海域を2062万立方メートル(東京ドーム16.6杯分)の土砂で埋め立てる計画です。沖縄ではこの間、辺野古新基地建設に反対の声を上げ続けてきましたが、その声を無視し工事を強行的に推し進めています。

現在、インターネット署名を日本のアーティストやタレント等がSNSで呼びかけを行っています。この署名は、沖縄県が予定する県民投票(2019年2月24日)までに、辺野古の工事を止めてほしいとトランプ米大統領宛てに送るものです。署名開始から30日以内(2019年1月7日まで)に10万筆が集まれば、ホワイトハウスが請願内容を検討し、60日以内に何らかの返答が届く仕組みになっています。民意を無視し続ける姿勢は、決して沖縄だけでなく、やがて自らにも降りかかってきます。13歳以上なら国籍を問わず誰でも署名できるものです！私たちには、まだできることがあります！

ホワイトハウス請願サイト「We the People(ウィー・ザ・ピープル)」の署名は簡単に行うことができます。

サイトにアクセスした画面の欄に、上から「名前」「姓」「メールアドレス」を英字で記入。その下にある「Sign now」をクリックすると、記入した「メールアドレス」にすぐに返信メールが届きます。メールを開いて表示される「WE the PEOPLE」と題した英文の中頃にある「Confirm your signature by clicking here.」と書かれた文をクリックすると、再びサイトが立ち上がり、黄緑色の文字で「YOU've successfully～」と書いた一文が表示されたら完了です。

※メールが届いた後に作業を続けなければ、署名したことにはなりませんので注意してください。

このQRコードからアクセスしてください！



2018年12月19日 琉球新報

